

磐城桜が丘高校における読書活動推進の取組

1 学校の概要

- ① 所在地 いわき市平字桜町5
- ② 学級数・生徒数 18クラス、715名（令和4年5月1日現在）
- ③ 学校図書館の蔵書数 35,718冊（令和4年3月末現在）

2 読書活動推進の取組内容

① 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

◆新入生図書館オリエンテーションの実施

4月中旬に国語の授業を1時間いただいてクラスごとに実施した。館内見学の際には図書の分類を意識して書架を見てもらえるようワークシートを用意した。入学以前の読書傾向と図書館への要望を把握するために、簡単なアンケートを実施した。

◆広報活動

図書館からのお知らせ、図書委員のおすすめ本などを掲載した「図書館だより」を月1回発行している。全校生・教職員に配布のほか、学校HPにも掲載し情報を発信している。また、年刊の「図書館報パピルス」では、図書委員会執行部の生徒が、読書への興味・関心につながる内容の特集記事を、アイディアを出し合いながら企画・執筆している。

また図書館入口に近い廊下の掲示黒板には、新着図書の案内や館内企画のお知らせなどを掲示し、本や図書館の活動をPRしている。

◆常設コーナー・テーマ展示コーナーの設置

新着図書、おすすめ本、進路・小論文、映画・ドラマ原作本の常設コーナーと、季節や時事に関連したテーマ展示コーナーを設置している（令和4年度のテーマは、雨の日に読みたい本、POPによる図書委員おすすめ本、心が疲れた時に読みたい本、国際平和を考えるなど）。

◆小論文対策ブックリストの作成

大学受験の小論文や面接対策として、参考になりそうな新書等の図書のテーマ別リストを作成し、3学年の各教室へも配布した。

◆読書週間企画

図書委員と司書がおすすめする本で、「本のお楽しみ袋」を実施した。添付してあるヒントを頼りに興味を持った本を選ぶのだが、普段手に取らないタイプの本に触れる契機になったと思われる。

◆探究活動への支援

年度によって実施状況は異なるが、総合的な探究の時間において、図書や新聞・雑誌等での情報の調べ方についてのガイダンス、探究のテーマに関する資料の提供を行っている。

② 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

◆「朝の読書」

平成26年度より1・2学年を対象に「朝の読書」を実施している（令和4年度は年間6週間）。「朝の読書」週間は、朝自習の時間（15分）を読書に充て、「みんなでやる」「好きな本

でよい」「ただ読むだけ」を原則に、各々が本と向き合うことを目的としている。図書館は「朝の読書をはじめよう！～磐城桜が丘高校「朝読」の手引き」の作成と、学級文庫の準備等を通して読書活動をサポートしている。

③ 読書活動の質の向上へ向けた取組

◆ビブリオバトルの実施

令和3年度より、1年生の国語の授業でビブリオバトルに取り組んでいる。各班のチャンプ本に選ばれた生徒は、校内ビブリオバトル大会への挑戦権を得られる。挑戦権を持つ参加希望者と2年生の有志による校内ビブリオバトル大会での上位者3名は、福島県大会の浜通り地区予選に出場した（令和3年度は1名が福島県大会に進出し、準チャンプ本に選ばれた）。

◆他校図書委員との交流

本校の図書委員会は「いわき地区高等学校図書委員連合会」に加盟しており、年2回本や読書に関する研修を行っている。令和4年度の研修内容はPOPの作成であった。

また、連合会の中で近隣4校と「第1ブロック会」を組織し活動しており、12月に「読書会」を開催した。読書会は各校の図書委員から推薦された課題図書を読んで意見交換をする活動である。事前に提示される質問事項に対する意見や感想を準備するため、課題図書を読み込まなければならない。当日は他の参加者の読み方や考え方に触れ、新しい視点や解釈に気づくことになる。本を介したコミュニケーションの機会となっている。

④ その他、読書活動推進へ向けた取組

◆学級文庫の設置

「朝の読書」用学級文庫を各クラスに30冊ずつ設置し、本選びの選択肢の一つとして活用してもらっている。多様な本に触れられるよう途中で図書の入替えも行っている。

◆先生方による図書の推薦

「生徒に薦めたい本」「授業で紹介した本」などを推薦してもらい図書館で購入している。また、年刊の「図書館報パピルス」では、先生方のおすすめ本をエピソードとともに紹介するなどしており、毎年恒例の企画となっている。

◆いわき市立図書館との連携

令和3年3月策定の「第四期いわき市子ども読書活動推進計画」において、中・高生の利用促進を図るため、「高校図書委員等のおすすめ本の展示」が新規の取組として計画された。この事業に連携し、図書委員の生徒が作成したおすすめ本の紹介POPを出品した。



テーマ展示コーナー



本のお楽しみ袋